

# 未来へつなぐ調布の環境 ～平成29年度 環境年次報告書～

調布市環境基本計画（計画期間：平成28年度～平成37年度）・環境データの報告



「調布市いきものフォトコンテスト2017」 ～感じよう！生物多様性～ 多摩川部門 多摩川自然情報館大賞

調 布 市

この「未来へつなく調布の環境」～平成29年度 環境年次報告書～（以下、「本報告書」という。）は、平成28年3月に策定した調布市環境基本計画で定めた環境指標等に対する進捗状況及び調布市をとりまく環境等に係るデータを毎年報告するものです。今回は平成29年度の実績を掲載しています。本冊子が、環境に対する取組を市民の皆様と共に進めていくため、調布市の環境をより分かりやすくお伝えし、情報を共有するための一助となれば幸いです。

# 目 次

第1章 調布市環境基本計画の概要	1
1.1 計画の概要	1
1.2 計画期間	1
1.3 基本理念・目指す環境の将来像	1
1.4 重点プロジェクト	1
1.5 具体的な施策と目標体系	5
第2章 地域の概況	8
2.1 調布市の位置	8
2.2 調布市の地形	8
2.3 人口・世帯数	8
2.4 産業	9
2.5 土地利用	9
2.6 交通体系	10
2.7 上下水道	10
第3章 調布市環境基本計画に基づく進捗報告	11
3.1 「豊かな緑と水や多様な生物を育むまち」の進捗状況	22
3.2 「人と環境が調和する快適で美しいまち」の進捗状況	35
3.3 「安心して暮らせる生活環境が確保されるまち」の進捗状況	45
3.4 「低炭素で循環型の社会の形成を目指し実現するまち」の進捗状況	58
3.5 「みんなの力でより良い環境を目指すまち」の進捗状況	74
第4章 調布市の環境状況	
4-1 大気	84
4-2 水	126
4-3 騒音	160
4-4 振動	165
4-5 放射線	168
4-6 調布市環境モニターの植生調査結果	175
4-7 用語集	179



## 第1章 調布市環境基本計画の概要

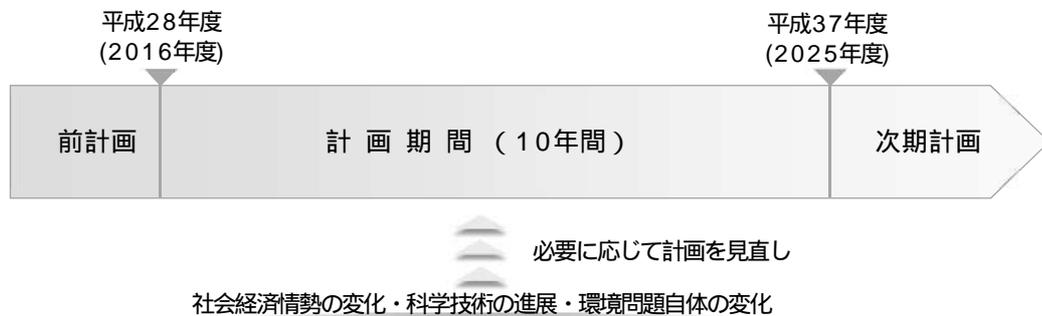
### 1.1 計画の概要

調布市では、「調布市環境基本条例」第9条に基づき、市の最上位計画である「調布市総合計画」のもとで、環境行政におけるマスタープランとなる「調布市環境基本計画」(以下、「本計画」という。)を平成28年3月に策定しました。

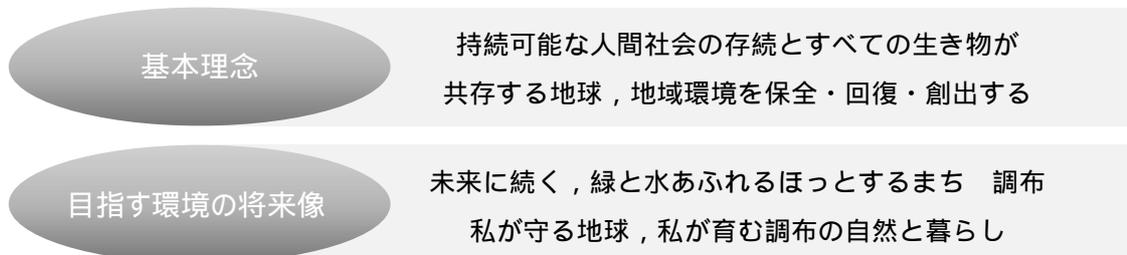
本計画は、市が目指す環境の将来像を明らかにし、環境に関する目標及び施策の方向性を示し、その実現に向けて、具体的な取組を総合的かつ横断的に推進を図ることで、実効性をあげる役割を担います。

### 1.2 計画期間

本計画の計画期間は、平成28(2016)年度から平成37(2025)年度までの10年間です。



### 1.3 基本理念・目指す環境の将来像



### 1.4 重点プロジェクト

#### 重点プロジェクトの考え方

本計画では、目指す環境の将来像「未来に続く，緑と水あふれるほっとするまち 調布 私が守る地球，私が育む調布の自然と暮らしー」の実現に向け、5つの基本目標を掲げ、基本目標実現のための22の施策を位置づけています。計画期間内に特に重点的に取り組む主要な事業等について、重点プロジェクトとして位置付け、前期5年間を目途に計画的かつ効率的に施策の成果向上につながるよう実行していきます。なお、新規事業については、調布市基本計画を始めとした関連計画との整合性や市の財政状況などを踏まえ、実施を目指します。

＜目指す環境の将来像＞  
未来に続く、緑と水あふれるほっとするまち 調布  
— 私が守る地球、私が育む調布の自然と暮らし —

重点プロジェクト

1  
市民の心の安らぎ  
緑と水を守る  
プロジェクト

2  
みんなで目指す  
環境先進都市  
プロジェクト

3  
みんなが主役  
環境を学んで楽しむ  
プロジェクト

施策と有機的な連動

5つの基本目標

1  
豊かな緑と水や  
多様な生物を  
育むまち

2  
人と環境が  
調和する快適で  
美しいまち

3  
安心して暮らせる  
生活環境が  
確保されるまち

4  
低炭素で循環型の  
社会の形成を目指し  
実現するまち

5 みんなの力でより良い環境を目指すまち

目指す環境の将来像の実現に向けた取組のイメージ

## 重点プロジェクトと施策との関係

重点プロジェクト 施策		1	2	3
		市民の心の安らぎ 守るプロジェクト 緑と水を	みんなで目指す 都市プロジェクト 環境先進	みんなが主役 環境を学んで 楽しむプロジェクト
基本目標1	1-① 緑の保全	○		
	1-② 水辺環境の保全・再生	○		
	1-③ 里山 <sup>5</sup> 環境の維持・保全	○		
	1-④ 生物の生息空間の保全	○		
	1-⑤ 多様な自然環境の活用			
基本目標2	2-① 景観形成の推進			
	2-② 歴史・文化環境の保全・継承			
	2-③ まちのうるおいの創出			
	2-④ 都市美化の推進			
基本目標3	3-① 大気汚染の防止			
	3-② 水質汚濁の防止			
	3-③ 騒音・振動の発生抑制			
	3-④ 化学物質等の対策の推進			
基本目標4	4-① 省エネルギーの推進		○	
	4-② 再生可能エネルギー等の活用推進		○	
	4-③ 環境に配慮したまちづくり		○	
	4-④ 地球温暖化への適応		○	
	4-⑤ 3R <sup>5</sup> 推進によるごみの減量		○	
	4-⑥ ごみの適正処理			
基本目標5	5-① 環境情報の集約・活用・発信			○
	5-② 活動を継続する担い手の育成と 啓発活動の推進			○
	5-③ 市民・事業者・市等の連携強化			○

## プロジェクトの構成

本計画の実現のためには、基本目標のもとで示された方針ごとに掲げられた施策・事業により、まちづくりを着実に進めつつ、施策間での横断的な連携により相乗的な効果をあげて行く必要があります。このため本計画では、特に重点的に取り組むべき横断事業について第3章の施策・事業から抽出し、重点プロジェクトとして位置づけ、事業の推進を図ります。

### 重点プロジェクト1 市民の心の安らぎ 緑と水を守るプロジェクト

崖線樹林地等の公有化・保全管理

協働による緑の保全のための仕組みづくりの検討

市民団体を交えた崖線樹林地の保全管理計画の策定

雨水浸透設備・雨水貯留設備の設置及び雨水利用の推進

計画区域内の生産緑地等の維持のための制度の検討

生態系の維持・回復

自然環境データベース化に向けた仕組みづくりの検討

### 重点プロジェクト2 みんなで目指す 環境先進都市プロジェクト

家庭における省エネ型機器の普及啓発

省エネ・節電の啓発

低燃費車等の利用啓発

住宅における太陽光発電システム等の導入に対する普及啓発

低炭素まちづくりに向けた地域エネルギー利用効率化の検討

事業所・家庭へのエネルギー管理システム（BEMS，HEMS）の設置支援等の検討

豪雨対策の検討

ごみの発生抑制に向けた市報・市ホームページ・広報誌等による意識啓発・情報提供

### 重点プロジェクト3 みんなが主役 環境を学んで楽しむプロジェクト

自然環境情報のデータベース化に向けた仕組みづくりの検討

新たな環境情報発信方法の検討

幅広い市民を対象とした環境イベントの開催

雑木林ボランティア講座の実施による人材育成講座の実施

環境リーダー等育成のための仕組みづくりの検討

小中学生等への環境活動機会の提供

環境活動ボランティア支援の仕組みづくりの検討

市民団体等が主体となって環境活動を実施する仕組みづくりの検討

## 1.5 具体的な施策と目標体系

目指す環境の将来像の実現に向けた今後10年間の取組の方向として、5つの基本目標を定め、それぞれの基本目標に施策の方針を定め、22の施策を体系化するとともに、施策ごとに具体的な取組や環境指標・目標値等を展開しています（計画の体系は次ページのとおりのり）。

表 1.5.1 調布市環境基本計画の具体的な施策と目標体系

将来像	基本目標	施策の方針		施策	
未来に続く 緑と水あふれるほっとするまち調布 【目指す環境の将来像】 私を守る地球 私が育む調布の自然と暮らし	1. 豊かな緑と水や多様な生物を育むまち	1-(1)	緑と水の保全・再生	1-	緑の保全
				1-	水辺環境の保全・再生
				1-	里山環境の維持・保全
		1-(2)	生物多様性の保全・活用	1-	生物の生息空間の保全
				1-	多様な自然環境の活用
	2. 人と環境が調和する快適で美しいまち	2-(1)	美しい街並みの形成	2-	景観形成の推進
				2-	歴史・文化環境の保全・継承
		2-(2)	快適な空間の確保	2-	まちのうらおいの創出
				2-	都市美化の推進
	3. 安心して暮らせる生活環境が確保されるまち	3-(1)	公害のない環境の維持	3-	大気汚染の防止
				3-	水質汚濁の防止
				3-	騒音・振動の発生抑制
				3-	化学物質等の対策の推進
	4. 低炭素で循環型の社会の形成を目指し実現するまち	4-(1)	低炭素まちづくりの推進	4-	省エネルギーの推進
				4-	再生可能エネルギー等の活用推進
				4-	環境に配慮したまちづくり
				4-	地球温暖化への適応
		4-(2)	循環型まちづくりの推進	4-	3 R 推進によるごみの減量
				4-	ごみの適正処理
5. みんなの力でより良い環境を目指すまち	5-(1)	環境情報の整備・共有	5-	環境情報の集約・活用・発信	
	5-(2)	環境活動を担う人材の育成	5-	活動を継続する担い手の育成と啓発活動の推進	
	5-(3)	連携・協働の基盤づくり	5-	市民・事業者・市等の連携強化	

重点P	重点指標	環境指標	基準値 (H26年度)	目標値 (H37年度)
1		みどり率	36.0% H22	36.0% H32
1		公共が保全する緑の面積	146.63 ha	149.85 ha
1		市民と協働で保全活動を行う崖線の箇所数	5箇所	8箇所
1		浸透設備等の設置による雨水の浸透能力	66,828 m <sup>3</sup> /h	115,600 m <sup>3</sup> /h
1		雑木林ボランティア講座の延べ受講者数	72人	800人
1		市民と協働で保全活動を行う崖線の箇所数(再掲)	5箇所	8箇所
1		自然環境調査の実施回数	7回	63回(延べ回数)
1		特定外来生物(植物)駆除活動における対象面積	875 m <sup>2</sup> /回	17,500 m <sup>2</sup> (延べ面積)
		自然観察会の実施回数	7回	70回(延べ回数)
		自然体験学習の参加者人数	877人	9,000人(延べ人数)
		公共が保全する緑の面積(再掲)	146.63ha	149.85ha
		無電柱化道路延長	0m	1,380m(延べ距離数)
		調布には優れた景観があると思う市民の割合	84.3%	85.0% H30
		花いっぱい運動の実施箇所数	34箇所	51箇所
		市民一人当たりの公園面積	5.77 m <sup>2</sup>	5.66 m <sup>2</sup>
		美化推進重点地区数	7地区	11地区
		美化活動に参加した市民の数	9,513人	10,000人
		二酸化窒素(N O <sub>2</sub> )の環境基準の年間未達成日数	1日	0日
		浮遊粒子状物質(S P M)の環境基準の年間未達成状況	0日, 0時間	0日, 0時間
		微小粒子状物質(P M <sub>2.5</sub> )の環境基準の年間未達成状況(1日平均を確認)【参考指標】	0日	0日
		雨天時における処理場を含む各吐口からの放流水のB O D値(平均放流水質)	40mg / L以下	40mg / L以下
		道路交通騒音の要請限度数値の未達成地点数	1地点	0地点
		騒音相談が寄せられた工場・指定作業場における規制基準順守状況	85%	100%
		空間放射線量の測定監視回数及び除染基準を超えた回数(【 】内は除染基準を超えた回数)	120回【0回】	120回【0回】
2		市役所から排出されるC O <sub>2</sub> の削減	14,859t-CO <sub>2</sub>	13,343t-CO <sub>2</sub>
2		街路灯のL E D化	0 m	1,380m(延べ距離数)
2		市域から排出されるC O <sub>2</sub> 排出量【参考指標】	829kt-CO <sub>2</sub> H24	705kt-CO <sub>2</sub> H35
2		補助要綱に基づく補助金交付対象となった太陽光発電システムの公称最大出力	367.88kW	2,520kW(延べ出力) H34
2		補助要綱に基づく補助金交付対象となった家庭用燃料電池の助成件数	105件	700件(延べ件数) H34
2		公共施設に設置した太陽光発電システムの公称最大出力	993.8kW	1,043.5kW
2		みどり率(再掲)	36.0% H22	36.0% H32
2		市域から排出されるC O <sub>2</sub> 排出量【参考指標】(再掲)	829kt-CO <sub>2</sub> H24	705kt-CO <sub>2</sub> H35
2		浸透設備等の設置による雨水の浸透能力(再掲)	66,828 m <sup>3</sup> /h	115,600 m <sup>3</sup> /h
2		地球温暖化に係る情報提供数	25回	28回
2		市民一人一日当たりの家庭系ごみ排出量	389.7 g/人日	380 g/人日 H34
		最終処分量(埋立量)	0	0 H34
		総資源化率	44.7%	47% H34
3		市報や環境年次報告書等による環境情報の提供回数	104回	115回
3		多摩川自然情報館のボランティア解説員養成講座を受講し、解説員として登録するボランティア人数	19人	40人
3		調布こどもエコクラブ加入者数	55人	500人(延べ人数)
3		雑木林ボランティア講座の延べ受講者数(再掲)	72人	800人
3		環境連携事業数	58回	580回(延べ事業数)

原則、基準値は平成26年度の実績値、目標値は平成37年度の値としているが、「」の箇所は調布市基本計画及びその他の個別計画等により定められた指標等を活用しており、その計画等に記載されている年度を基準値または目標値としている。

## 第2章 地域の概況

### 2.1 調布市の位置

調布市は、東京都のほぼ中央に位置し、都心へ約20kmの距離にあります。市域は、東西約7km、南北約5.7kmと東西方向にやや長く、総面積は21.58km<sup>2</sup>です。



図 2.1.1 東京都内における調布市の位置

### 2.2 調布市の地形

多摩川に向かって、武蔵野段丘、立川段丘、多摩川沖積低地が形成されています。武蔵野段丘と多摩川沖積低地の高低差は約30mあり、「はけ」と呼ばれる国分寺崖線、布田崖線及び仙川崖線の斜面が見られるのが特徴です。

南部を流れる多摩川を始め、崖線下の湧水を主な水源とする野川、仙川、入間川が市内を流れています。

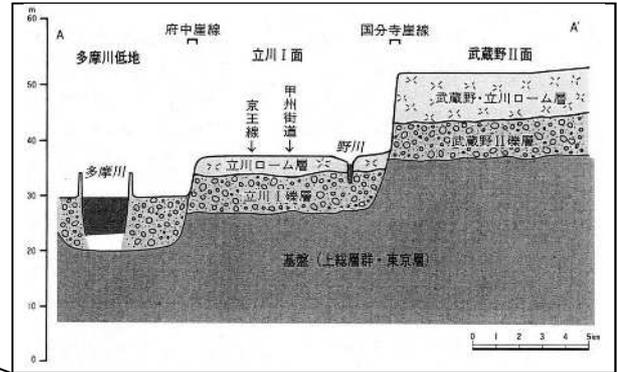
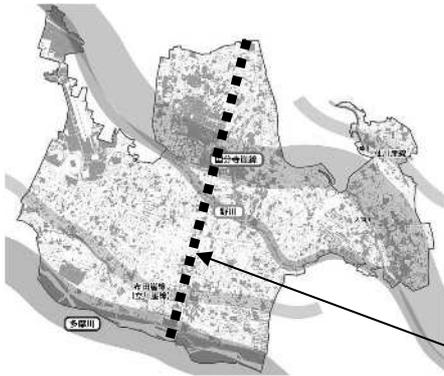


図 2.2.1 調布市の位置と地勢

(資料:「調布市景観基本計画」平成24年4月(左図),「図説調布の歴史」平成12年3月(右図))

### 2.3 人口・世帯数

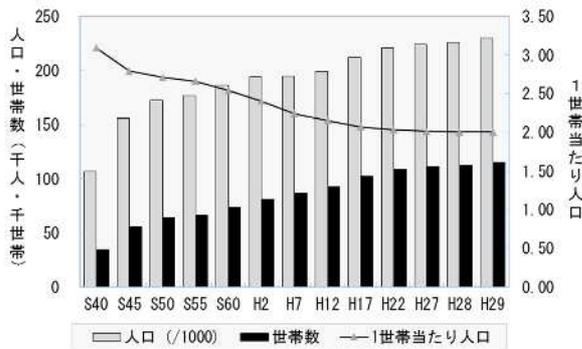


図 2.3.1 人口・世帯数の推移

(各年1月1日現在, 資料: 調布市の世帯と人口)

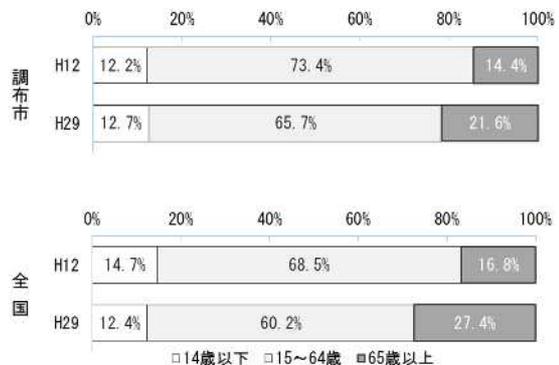


図 2.3.2 年齢別人口比の比較(調布市・全国)

(各年1月1日現在, 資料: 調布市の世帯と人口, 総務省統計局)

## 2.4 産業

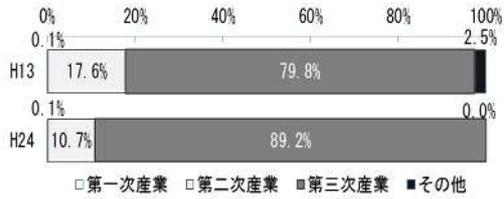


図 2.4.1 産業従業者の内訳  
(資料：調布市統計書平成 14 年版，平成 26 年版)

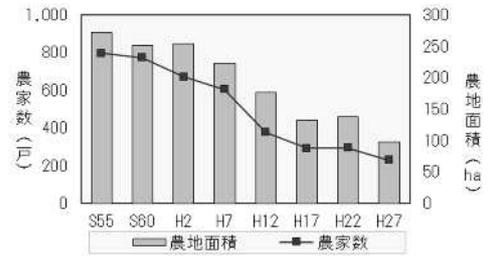


図 2.4.2 農地面積・農家数の推移  
(資料：調布市統計書平成 18 年版，平成 27 年版)

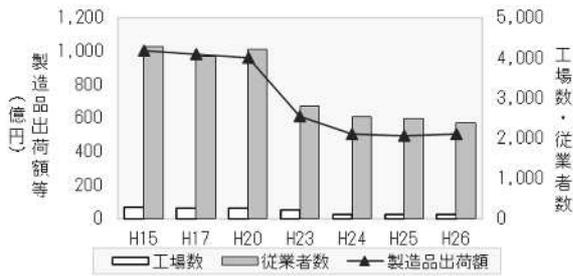


図 2.4.3 工場数・従業員数・製造品出荷額の推移  
(資料：調布市統計書平成 27 年版)

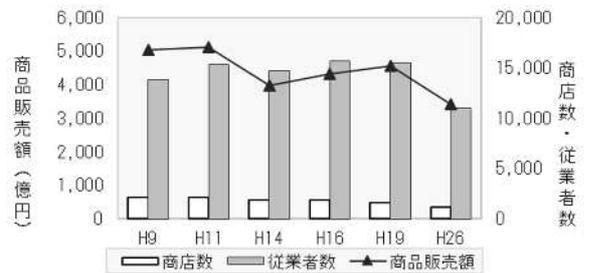


図 2.4.4 商店数・従業員数・商品販売額の推移  
(資料：調布市統計書平成 27 年版，平成 26 年商業統計確報(経済産業省))

## 2.5 土地利用

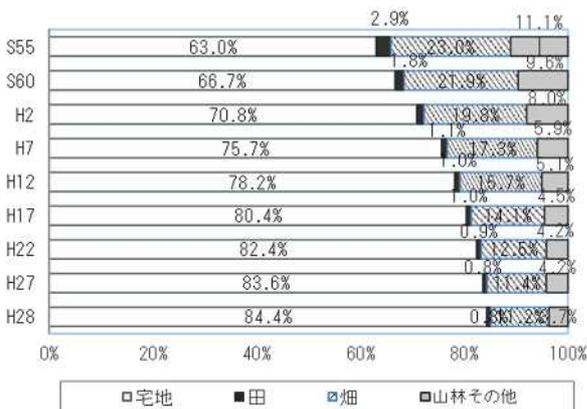


図 2.5.1 地目別土地利用の内訳の推移  
(資料：調布市統計書平成 28 年版)



図 2.5.2 用途地域の内訳  
(平成 29(2017)年 3 月末現在，資料：調布市統計書平成 28 年版)

## 2.6 交通体系

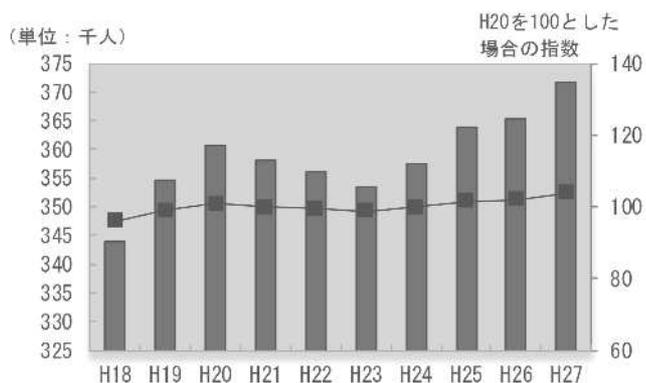


図 2.6.1 鉄道乗降人員の推移  
(資料：調布市統計書平成 21 年版，平成 27 年版)

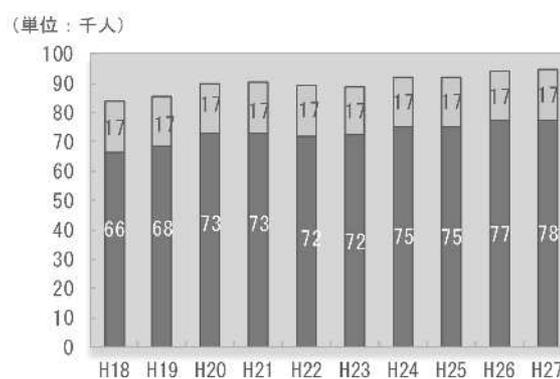


図 2.6.2 路線バス輸送人員の推移  
(資料：調布市統計書平成 18 年版～平成 27 年版)

## 2.7 上下水道

年度	給水人口	配水量	一日平均配水量
H23	224,339	25,238,400	68,957
H24	225,057	25,104,600	68,780
H25	226,178	25,047,100	68,622
H26	226,435	24,733,000	67,762
H27	229,644	24,950,000	68,169

図 2.7.1 水道配水量の推移 (単位：m<sup>3</sup>)  
(資料：調布市統計書平成 27 年版)

年度	処理区域面積(ha)	処理区域人口(人)	水洗化人口(人)	管渠延長(km)
H23	1,955	222,518	222,438	553
H24	1,955	223,220	223,144	553
H25	1,955	223,947	223,871	553
H26	1,955	224,703	224,627	553
H27	1,955	227,208	227,140	553

図 2.7.2 下水道の普及状況  
(資料：調布市統計書平成 27 年版)